

(添付資料)

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、「産業」、「社会」、「生活」を革新するソリューション提案型企業として、グローバルな市場において、商品、サービスに幅広い事業の展開を目指しております。そして、これらの事業展開を通じての「社会発展への貢献」が当社のミッションと考えています。

国内外の株主、投資家などさまざまなステークホルダーの期待に連鎖する経営目標として、資本市場における「企業価値の長期的最大化」を経営目標に掲げ、今後10年の目指すべき基本方針や事業の方向を、「グランドデザイン2010」として、社内外にすでに明らかにしております。その基本戦略は、グローバル市場において、「センシング&コントロール」技術・ノウハウを強みとして、顧客により高い価値を提供していくこと、としております。

経営情報の開示など透明性ある経営を行い、持続的な成長を続けることによって、皆様の期待に応えていきたいと考えております。

(2) 利益配分に関する基本方針

利益配分に関しましては、より連結業績を重視した配当施策を基本方針としていく予定です。一方、将来の事業拡大や収益向上に必要な内部留保は確保した上で、安定的に株主の皆様へ利益を還元していくことも重要と考えており、今後とも一定の配当水準は維持するよう努力していきます。

また、長期的な株主への利益還元と位置付けて、自己株消却を実施しており、今後も自己株取得などの新しい制度の利用も視野に入れ、幅広い利益配分の施策を検討していきます。

(3) 中長期的な経営戦略

自社の強みを明確化し、ブランド力を高めるため、「センシング&コントロール」をすべての事業の核とすることにしました。これは、近い将来、センシング技術によりさまざまな情報を読み取り、それをネットワーク上で自在にコントロールさせる「センサーネット」の時代が来ることを予測しているためです。

このような時代の到来を想定して、次世代の成長ビジネスを育てるべく、挑戦していくのが、戦略ビジョンのひとつです。そのため、基幹事業であるインダストリアルオートメーションビジネスカンパニーとエレクトロニクスコンポーネンツビジネスカンパニーに重点的に投資資源を配分していきます。

日本経済の構造改革推進のもと、中期的には、民間設備投資や個人消費の回復は厳しいものと思われる。当社におきましても厳しい事業環境と想定されますが、短期的な業績変動を乗り越えて、将来の成長のため、この経営戦略に挑戦していきます。

そして、経営方針の項で言及しました「グランドデザイン2010」のなかで、2005年3月期をメドとして、ROE10%、分社化の加速、海外株式市場での上場を、その具体的な経営の目標に掲げております。

(4) 経営管理組織の整備等（コーポレートガバナンスの充実）に関する施策

当社は、グローバル企業として資本市場に対応でき、かつ国際社会に通用するコーポレートガバナンスの確立に向けた変革を進めてまいります。

そのため、「経営の自律」としては、今期より社外取締役制を採用しており、株主代表としての取締役会の機能を強化し、透明性ある経営を推進しております。組織的には、ボード（取締役会）、コーポレート（経営執行）、オペレーション（事業執行）に役割分離し、迅速に対応できる体制を目指します。

「事業の自律」では、カンパニー制を分社化に向け加速させ、それぞれの事業が最適な運営を行えるようにしていきます。

(5) 会社の対処すべき課題

当社の主力カンパニーの製品、サービスは、産業用、民生用機器、それらへのサービスとして主に産業分野で利用されております。そのため、それら産業分野の設備投資動向、業界の景況によって、当社への需要に変動が生じます。今期においては、顕著にこの変動傾向を受けた業績結果となりました。そのため、この需要変動に耐えられるだけの収益力の向上が課題となります。

これらの課題を克服すべく、中国はじめ海外市場での生産・販売拡大をさらに加速させることや、安全、環境分野など、当社の強みである「センシング&コントロール」技術を有効に活用できる分野への新商品、新事業の展開に取り組んでいます。

(6) その他、会社の経営上の重要な事項

なし